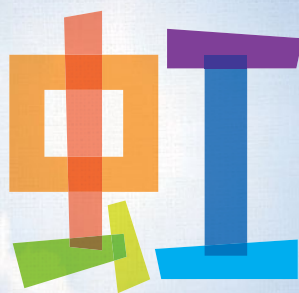


co-op

三重の生協の
今を伝える

みえの



No.130

2023年1月

三重県生活協同組合連合会

〒514-0009 三重県津市羽所町379
TEL.059-228-9913 FAX.059-228-9915

謹んで新年のお慶びを申し上げます

あけましておめでとうございます。



2022年は、大きな変化のあった年でした。新型コロナウイルスの継続した感染拡大、ロシアによるウクライナ軍事侵攻、記録的な円安と物価高など、暮らしに大きな影響を与えてきました。

2020年に発生した新型コロナウイルスの感染の中で、事業継続をすすめ、組合員の暮らしを支えてきました。これまでの地域でのつながりを活かし、行政や地域諸団体との連携をすすめてきました。生協間の連携を強め、より協力しあってきました。地域社会で発生するさまざまな困難や課題を連携することによって助け合う取り組みを引き続き重視していきます。

ロシアのウクライナへの軍事侵攻は、平和秩序や人道的な危機を引き起こし、世界的なエネルギー危機、食糧危機、金融危機を引き起こしています。長期化する中、軍事進攻の即時停止と平和的解決を求めることが重要になっております。また、国家間の対立と分断がすすんでおり、安全保障政策を軍事力強化に転換するより、平和的対応や交渉を強めることが求められています。

持続可能な社会やSDGs重点課題を着実に前進させる取り組みをすすめてきました。とりわけCO2削減をすすめるための省エネ・省資源・資源循環の取り組みを強化していきます。

三重大学で実施されている「協同組合論」の講義の運営などに協力しつつ、自ら生協のあり方について検討を深めていきます。

東南海地震や毎年繰り返される自然災害に備え、発生時の事業継続の検討、行政や関係団体との連携、迅速な支援の検討をすすめます。

私たちを取り巻く環境は、コロナウイルス・軍事侵攻による変化とともに、温暖化の進行、人口減少や少子高齢化による暮らし方の変化、物価高による生活苦が広がっております。人間らしい暮らしと持続可能な社会を目指す生協の価値や役割を強め、生協らしく立ち向かうようすすめていきます。



一人は万人のために 万人は一人のために

生活協同組合
コープみえ

みえ医療福祉
生活協同組合

三重県学校
生活協同組合

三重大学
生活協同組合

三重短期大学
生活協同組合

三重県立看護大学
生活協同組合

三重県労働者共済
生活協同組合

活動報告

三重県漁業協同組合連合会主催 「県内一斉海浜清掃」に参加しました

2022年7月16日(土)7:30～8:30、MJC(三重県協同組合連絡協議会)の幹事団体である三重県漁業協同組合連合会が実施した県内一斉海浜清掃に、MJCの一員として三重県生協連の会員生協役職員18名が参加し、早朝から津市の海岸でプラスチックごみなどを回収しました。

この「県内一斉海浜清掃」は、「きれいな海」「豊かな海」を守るために毎年この時期に開催されており、JAグループ三重や三重県生協連は2020年から、海と地域の環境保全、MJCの社会貢献活動として、みんなで力を合わせて参加しています。



活動報告

これからの年金と介護保険の学習会「人生100年時代！『しあわせ老後』へのナビゲート！」を開催

2022年8月19日(金)13:30～15:30、対面(アスト津研修室A)とリモート(Zoom)で、これからの年金と介護保険の学習会「人生100年時代！『しあわせ老後』へのナビゲート！」を開催しました。9月10日(土)10:00～12:00には学習会の再放送をリモート(Zoom)で開催しました。

「元氣が出るお金の相談所」所長でマネーセラピストの安田まゆみ氏から、「超高齢社会」の日本の状況、これからの「年金」制度について、介護保険制度の改正、100年時代に備えるライフプランの考え方等について、ご講演をいただきました。会員生協の組合員や役職員等63人が参加しました。参加者からは、介護保険の改定がすすむ度に国民の負担が増えていることや、2024年度に予定されている介護保険改定の動向には十分注視しておくこと、人生100年時代に備えるライフプランについて、とても参考になったという感想が多く出されました。



活動報告

「水道が民営化！～なぜ日本は水道を民営化しようとするの？欧州での再公営化から学ぶ～」を開催

2022年9月3日(土)9:45～11:45、リモート(Zoom)で「水道が民営化！～なぜ日本は水道を民営化しようとするの？欧州での再公営化から学ぶ～」を開催しました。9月22日(木)19:30～21:30には学習会の再放送をリモート(Zoom)で開催しました。

東京都杉並区の岸本聡子区長から水道の民営化問題をテーマに、リモートでご講演をいただきました。会員生協の組合員や役職員のほか全国から116人が参加しました。

岸本区長からは、世界の民営化とその問題事例や、地域の未来を守るために何をなすべきか、民営化ではなく民主化が大事であること、水道の再公営化によって水と地場産業を守る地域循環型の仕組みができた事例等を詳しく解説していただきました。

水道は、市民の命にかかわるととても大切な公共事業であり、ひとたび民営化されたら再公営化の道は大変厳しいということを、世界の事例から学びました。

この学習会はYouTubeで限定公開していますので視聴をご希望の方は、三重県生協連へお問い合わせください。



活動報告

生活協同組合コープみえ「20周年フェスタ」
中勢会場に参加しました

2022年10月22日(土)10:00～15:00、メッセウィング・みえにて、生活協同組合コープみえ「20周年フェスタ」が開催され、コープみえの組合員を中心に2,977名の参加で開催されました。

この企画は、組合員とともにコープみえの創立20周年を祝うことで、取引先の生産者やメーカー43社79名と、行政等18団体64名のご参加もありました。ステージでは、三重高等学校ダンス部のパフォーマンスや、稲葉特別支援学校による太鼓演奏等もおこなわれました。三重県生協連は、食品ロスの削減をテーマに来場者に「食ロス川柳」を考えていただきました。



活動報告

三重県ユニセフ協会「設立10周年記念事業」に
参加しました

2022年11月23日(水)9:30～16:00、三重県総合文化センターにて、三重県ユニセフ協会の「設立10周年記念事業」が開催されました。

「みんなで達成しようSDGs!」をテーマに、記念式典とイベントが開催され、協賛した18の県内企業や団体のほか、ユニセフ活動を支えてきたボランティアの皆さんがイベントに出展しました。



三重県生協連は、会員生協の組合員さんが参加して製作した絵本「あなたこそ たからもの」の読み聞かせ動画の上映(YouTube公開中)と、食品ロスの削減をテーマに来場者に「食ロス川柳」を考えていただきました。



活動報告

食の安全・安心研修会「カフェインについて
考えよう!」を三重県と開催

2022年12月3日(土)10:15～11:30、対面(アスト津会議室1)とリモート(Zoom)で、食の安全・安心研修会「カフェインについて考えよう!」を三重県と共催で開催しました。

内閣府食品安全委員会事務局の藤田佳代氏から、食品安全の基本とカフェインをテーマにご講演をいただきました。三重県の職員や大学生、会員生協の組合員等44人が参加しました。

藤田氏からは、量の概念や食品の安全を守る仕組み、カフェインのリスク、国等の取組等について分かりやすく解説していただきました。

カフェインの適切な摂取は健康維持にもつながりますので、摂取量をある程度計算することで摂りすぎないようにすること等が大事だと学びました。参加者からは、コーヒーやエナジードリンク等のカフェイン含有量がどの程度なのかを知ることや、製造者がカフェインの含有量を公表してくれるとよいといった感想が出されました。

この学習会は、1月26日(木)19:30～20:30に、録画した動画の再放送をお送りします。

参加のお申し込みは、1月20日(金)までインターネットで受け付けています。

<https://form.os7.biz/f/ae2325c4/>



三重県議会議長との懇談で「県政要望」をお伝えしました

2022年12月20日(火)13:15～13:45、三重県議会議会棟で、三重県議会の前野和美議長と三重県生協連の茂木会長理事、堀尾副会長理事、鈴木専務理事が懇談し、三重県議会へ成年年齢引下げの法施行に関わる消費者被害防止の取り組みや、社会保障のあり方を住民参加で検討すること、水道の民営化問題や奨学金問題など13の項目を要望書にしてお渡ししました。

前野和美議長からは、他の議員にも伝え、努力してまいりたい旨のご回答をいただきました。



お知らせ

学習会「核兵器のない世界を！～核兵器禁止条約締約国会議とNPT再検討会議の成果と課題を学ぶ」を開催します

主催：三重県生活協同組合連合会、全岐阜県生活協同組合連合会

2022年は、「核兵器の廃絶」と「核軍縮」の今後に向けた重要な年として、核兵器禁止条約第1回締約国会議とNPT再検討会議が開催されました。

核兵器禁止条約第1回締約国会議では、この条約を実現していくための「ウィーン宣言」と「ウィーン行動計画」が採択されましたが、NPT再検討会議は最終文書が採択されず、今後に向けての課題を残す結果となりました。この会議での成果と課題について専門家から学び、核兵器の廃絶に向けた「これからの平和活動」を一緒に考えましょう！

日時 2023年1月21日(土) 10:00～12:00

場所 リモート(Zoom)と、三重県会場(アスト津 会議室1)、
岐阜県会場(みんなの森 ぎふメディアコスモス「かんがえるスタジオ」)

*新型コロナウイルスの感染状況によりリモートのみで開催する場合があります。

募集人員 リモート300人(Zoom)、
三重県会場30人、岐阜県会場50人

【申込フォーム】 <https://form.os7.biz/f/dcbc2ce8/>

【電話での申込】 三重県会場 059-271-8503、岐阜県会場 058-370-6867



講師：中村 桂子氏(長崎大学核兵器廃絶研究センター 准教授)

【プロフィール】 カリフォルニア州立大学ヘイワード校国際学卒業。モンレー国際大学大学院国際政策研究修士課程修了。2001年～2012年特定非営利活動法人(NPO法人)ピースデポの研究員。2012年4月、核兵器廃絶研究センター現職。



報告：木戸 季市氏(日本原水爆被害者団体協議会 事務局長)

【プロフィール】 1940年長崎市生まれ。5歳の時長崎原爆により被爆。1991年岐阜県原爆被害者の会を結成、事務局長。2008年日本原水爆被害者団体協議会事務局次長、2017年事務局長。

お知らせ

海洋プラスチックごみ問題の学習会「これからの気候変動にどう向き合うか～海の中から暮らしを考えてみよう!～」を開催します

主催：三重県生活協同組合連合会、原水爆禁止三重県協議会

40年以上にわたり日本や世界の海に潜り変わりゆく海を目撃されてきたプロダイバーから、これまでの変化と、いま海で何が起きているのか、その原因は何なのか、地球にどのような影響があるのかを学びます。環境や平和を守ることの大切さや、これからの暮らし方を一緒に考えましょう！

日時 2023年2月4日(土) 10:00～12:00

場所 アスト津研修室Aと、リモート(Zoom)

*新型コロナウイルスの感染状況によりリモートのみで開催する場合があります。

募集人員 会場50人、リモート100人まで

【申込フォーム】 <https://form.os7.biz/f/aeb8d15a/>

【電話での申込】

059-228-5854 (原水爆禁止三重県協議会)



講師：武本 匡弘氏

【プロフィール】 北海道小樽市出身。2019年「エコストア・パパラギ」を開業。グリーンピースジャパンアンバサダー、日本サンゴ礁会会員、公益財団法人 第五福竜丸平和協会協力会員、一般社団法人 協同総合研究所会員、NPOダイオキシン・環境ホルモン国民会議会員。

